



防災意識の高揚 ～災害に備えて安心 我が家の防災～

災害は、いつ、どこで、どのように起こるかわかりません。
突然やってくる災害から身を守るため、普段から災害に対する備えをすることが大切です。
そのため、

- 家族がバラバラになったときに集まる場所や連絡の方法
- 市町村が指定している避難場所
- 災害時に持ち出す大切なもの

などを家族全員で確認しておきましょう。



市町村長から避難の指示などがあった場合は、まず落ち着いて行動し、市町村職員や警察官の指示に従って避難しましょう。

車を運転中に大きな地震に遭ったときには、次のことを守ってください。

- 慌てずにハザードランプを点け、車を道路の左側に止めてください。
- ラジオなどで地震情報、道路情報などを確認して行動してください。
- 車は、できるだけ道路以外の場所に移動して駐車してください。
- やむを得ず道路に車を放置するときは、道路の左側に寄せ、エンジンを止め、窓を閉め、エンジンキーを付けたままにして、ドアロックはしないでください。
- 通行止めなどの交通規制が行われているときは、警察官や道路管理者の指示に従って行動してください。

110番の正しい使用方法

110番は、事件や事故が発生したときに緊急に警察に通報するための「警察専用の緊急用電話番号」です。相談や照会等緊急性のないものは、警察相談専用電話（#9110）または沼田警察署にかけて下さい。

【正しいかけ方】

- 110番は、市外局番を押す必要はありません。直接110番でつながります。（旭川方面管内は全て旭川方面本部通信指令室につながります。）
- 110番する場合は、あわてず、落ち着き
 - ・何が起きたのか（事件ですか？事故ですか？）
 - ・いつ起きたのか（通報する何分前の出来事ですか？）
 - ・どこで起きたのか（場所はどこですか？地番まで教えて）
 - ・犯人はいるのか（徒歩で逃げたの？それとも車？）
 - ・あなたの名前は（住所・電話番号も教えて）

など電話に対応した警察官の質問に答えて下さい。



犯罪の発生状況

（平成27年6月末現在）

	空き巣	事務所 荒し	出店荒し	車庫荒し	置引き	鉄板盗	自動車・ オートバイ盗	自転車盗	車上狙い	部品 ねらい	詐欺	軽油 灯油盗	その他	合計
平成27年		2		1									2	5
平成26年	1		1										2	4

交通事故の発生状況

（平成27年6月末現在）

町内における交通事故件数

	人身事故	物損事故
平成27年	3	26
平成26年	3	32

町民が町外で第1当事者となった人身事故件数

平成27年	2
平成26年	0

（平成27年6月末現在）